

# わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.2 R3,4,30

鮮やかな新緑の季節になりました。新年度になって約3週間。子どもたちは園庭で、思い思いの楽しみを見つけ始めています。じっくり取り組んだり、粘り強く挑戦したり、いろいろな感触を味わったり、友だちと思いを共有したり、ほっと落ち着いたり…。こうした心の動きを伴う様々な経験を通して、人として生きる力を培っていくのです。ついに園庭デビューした花組さんも、たくさんの子どもたちが遊んでいる様子に刺激され、自ら動き始めました。これからどんな楽しみを見つけていくのでしょうか？

## 広い砂場で何して遊ぶ？

初めのころは、新しくできた砂場を横目に、これまで楽しんできた鬼ごっこやサッカー、縄跳びや滑り台で遊んでいた子どもたち。少しばかり緊張感を感じていたようです。しかし、徐々に砂場で遊ぶ人数は増え、今ではいろいろな学年の子が入り混じって遊ぶようになりました。

水を流し込み、  
ダイナミックに！  
そして繊細に！



砂遊びに水は欠かせません。サラサラの砂に水を含ませ、ぎゅっと形を作ったり、穴を掘って水を溜めたり、斜面に水を流したり…。大胆に水を流して遊んでいるようですが、バケツに汲んだ水を細い樋に流し入れるには、かなり集中力が必要です。注ぐ水の量を調整するために足を踏ん張り、お腹にぐっと力を入れたりして、自分の体を支えています。

樋はつづく  
遊びは毎日つづく



園庭で好きな遊びを見つけると毎日繰り返し楽しむことができます。今、子どもたちが夢中になって遊んでいる樋をつなげて水を流す遊びからは、昨日の経験が今日に生き、今日の経験が明日に生きる、小さな経験の積み重ねが大きな学びにつながっていることがわかります。特別な場所に出かけるのではなく、毎日遊ぶ園庭だから積み上げられるたくさんの経験があるのです。

砂場横の机では…



↑ たくさんのお皿を並べてままごと遊び。

← 色水作りも楽しんでいます。

なんだか面白そう…



そうめんに見立てたスギナをそっと水で流してみました。「流しそめんみたい！」月組さんが遊ぶ様子を傍でじっと見つめている花組さん。月組さんがこれまでに積み上げてきた経験が、花組さんへと受け継がれていきます。園庭の手前に砂場を作ったことで、学年やクラスの枠を超えた交流が自然と多く見られるようになりました。

砂遊び  
まずはここから！



花組さんも靴を脱ぎ、裸足になって遊び始めました。最初はおっかなびっくり踏み入れた砂場でしたが、心地いい砂の感触にだんだんと大胆になっていきます。まずは感触を味わうことから遊びはスタートするのでしょうか。幼稚園だからこそできるこういった経験も大切にしていきたいです。

ご参加  
お待ちしております！

先日、井上先生の講演を行いました。好評だったため5月9日(日)にもう一度お話していただく機会を設けました。詳しくは別紙をご覧ください。参加を希望される方は参加希望紙を**6日(木)**に提出してください。

子どもの手に乗る蝶



今年もツマグロヒョウモンが卵を産み付けにやってきました！

頂上を目指して！

進級後も頂上を目指して果敢に挑戦し続けています！



そして登れた喜びを体全体で表しています。悔しい思いをたくさんしたからこそその喜びを味わっていることでしょう。

